



第41号 H23.3.15

発行 社会福祉法人
福岡県社会福祉協議会
子育て支援事業推進室

〒816-0804
福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ6階
TEL 092-584-3785
FAX 092-584-3369
Email kosodate@fuku-shakyo.jp



子育てサロン プチママクラブ(福岡市早良区)で撮影

出会いを楽しみに

子育て支援事業推進室は、今年度も県内各地たくさんの子育てサロンに伺わせていただきました。年度末を迎え、出会った親子や子育て支援者など様々な方との出会いを思い返します。

立ち上がったばかりのサロンでお母さんたちが回数を重ねる度に意見を出し合うようになったり、参加していたお母さんがOBになり、ボランティアとしてサロンに関わるようになったり、それぞれのサロンが1年間で大きく変化し、充実した活動をされていました。

今年度、本誌の取材を通して出会ったたくさんの親子、子育て支援者のみなさんに感謝し、来年度も新たな出会いを楽しみに頑張りたいと思います。

(子育て支援事業推進室)

もくじ

- 子育てサロンの知恵袋2~3
~参加対象を決めて活動するサロン編~
- 繋サポ NEWS(ご報告)..... 4

子育てサロンの知恵袋

～参加対象を決めて活動するサロン～

親子が集まるサロンには、多胎児をもつ親やアレルギーの子どもを持つ親などサロンへの参加対象を決めて活動されているサロンがあります。

今回は、そんなサロンを紹介します。

プチママクラブ (福岡市早良区)



プチママクラブは、10代から20代前半のお母さん、お父さんを対象に活動されています。8年前に、保健師さんが赤ちゃん訪問の際に、対象のお母さんが1人で子育てに悩んでいる現状があり、相談などが気軽に出来る場所を作りたいと思い、サロンを立ち上げられました。月1回田村老人いこいの家でスタッフの1人である保育士さんが季節のイベントや絵本の読み聞かせをされ、公民館の方や地域のボランティアさんは子どもと一緒に遊んだり、見守りをされています。

参加人数は平均2～3組とあまり多くはありませんが、対象の親子がこのサロンをきっかけに他のサロンや親子が集まる場所へ参加して欲しいという思いを持って開催されているそうです。訪れた親子に他のサロンや同じ年齢の子どもを持つお母さんを紹介して、親子が外に出掛けるきっかけを作られています。

一人でも多くの親子にサロンを知ってもらうため保健師さんが、乳幼児全戸訪問をする際に対象のお母さんにサロンの案内をされているとのこと。

今後は、開催日を土曜日に変更し、お母さんだけでなく、お父さんにも参加して欲しいと考えられているそうです。

A-kid's～志免町アレルギーっ子の会 (志免町)

A-kid'sは、アレルギーのある子どもをもつお母さんを対象に活動されています。7年前に糟屋郡内でアレルギーの子を持つ親を対象にした交流会に参加し、同じ境遇の親子で町でも集まれたらと思い、立ち上げられました。月1回生涯学習館で悩みをお互いに話し、アレルギーに対応してくれるお店、病院、薬などの情報交換をされています。

サロンでは、講演会などに参加したお母さんが参加者にその報告をしたり、サロン開催日以外でも、1つのアドレスに送信すると、メンバー全員にそのメールが届くようにしてあり、いつでもお互いに相談が出来るようにされています。

現在は、町主催の0歳児教室に参加し、サロンを紹介されていますが、今後、町の保健師さんたちと協力し、アレルギーで困っているお母さんが少しでも気が楽になるように、相談会などのイベントを開けないか相談をされているそうです。



まんまるスマイル (筑紫野市)

まんまるスマイルは、多胎児を持つお母さんを対象に活動されています。2年前に多胎児を持つお母さんが交流する場を作りたいと思い立ち上げられたそうです。月1回カミーリヤで季節のイベントをしながら、おしゃべりの時間を設け、活動されています。

サロンには、毎回20組を超える親子が集まり、筑紫野市だけではなく、近隣の市町からも参加されています。サロンは参加人数も多く、多胎児になると、子どもが多くなるため、サロンを卒業した先輩のお母さんたちが進んで協力してくれているそうです。先輩のお母さんたちは、自身の経験から、ベビーカーから子どもを降ろすときやオムツ交換のときなどお母さんが困っているときにサポートをされていて、お母さんたちが安心して参加出来る雰囲気作りにつながっていました。

参加者の中には、このサロンに参加したことをきっかけに、他のサロンや親子が集まる場所に参加するようになった方もいます。

今後、多胎児を妊娠中のお母さんたちにもサロンに参加してもらい、同じ経験を持つお母さんに相談することで妊娠中からの不安を軽減してもらいたいと考えられているそうです。



周知方法の工夫

対象を決めて活動しているサロンは、これまで参加されたことのない方に呼びかける際、子育て中の親子と直接出会う機会の多い保健師さん、社協、行政などの関係機関に協力をしてもらっています。そうすることで、サロンの案内などの情報を細かく届けることが出来ているようです。



親子を地域へ

サロンに参加されたお母さんは、「誰でも参加出来るサロンには、気を使ってしまい参加しづらかったです。でも、対象を決めたサロンでは同じ境遇のお母さんたちと出会えるので安心出来ました。このサロンに参加したことで、他のサロンや親子が集まる場所にも積極的に参加出来るようになりました。」と話されました。対象を決めたサロンは、サロンへの参加をためらう親子にとって、外に出掛けるきっかけとなっているようです。

お母さんたちの気持ち

対象を決めて活動しているサロンでは、同じ悩みをもつお母さんたちの情報交換を中心に活動されました。他では話せない悩みも、気兼ねなく話すことができ、安心できる場所になっているようです。

また、参加されているお母さんたちは、自分たちが悩んだときやつらいときに、「サロンがあって気持ちが楽になった！」と話される方が多く、子どもがサロンを卒業した後もスタッフとしてお手伝いされている方がたくさんいらっしゃいました。

対象を決めて活動しているサロンが、地域にある他のサロンとの交流や子育てネットワークなどに参加し、自分たちの活動を発信していけたらいいですね。





ご 報 告

福岡県社会福祉協議会では、お父さん、お母さんの仕事と子育ての両立を支援するため、**病児・緊急預かり対応基盤整備事業**に取り組んでいます。

この事業は、病気で集団保育になじまない子どもの預かりや、急な残業・出張などでの宿泊を含む子どもの預かりなど、緊急時に対応するもので、大野城市・太宰府市・春日市・筑紫野市・那珂川町を対象地区としています。

前号でお知らせした通り、2月8日（火）に県内17市町のファミリー・サポート・センターの担当者、オブザーバーとして9市町の担当者みなさんに参加いただき「ファミリー・サポート・センター事業担当者会議」を開催しました。

会議では、厚生労働省雇用均等・児童家庭局職業家庭両立課の課長補佐から、事業概要、今後の事業方針についてお話いただきました。

その後、財団法人女性労働協会の事業担当の方

から全国の取り組みの紹介をしていただきました。

本部では、これまでの事業成果や会員さんの声を伝え、ファミリー・サポート・センター事業の中で病児・病後児等の預かりを実施いただけるようお願いをしました。

また、各支部のコーディネーターからも、援助活動の事例やお母さん・お父さんが一生懸命仕事をしながら子育てをされている現状、親子をいつもあたたかく見守りサポートして下さる援助会員さんの思いを伝えていただきました。

これからも、会員みなさんの力を借りて、病児・病後児等の預かりの移行に向けて一生懸命取り組んでいきます。

ふくおか緊急サポートセンター(本部)

福岡県社会福祉協議会 子育て支援事業推進室

TEL 092-584-3785 (担当 加藤・大倉)

一葉

冬の寒さもピークを過ぎ、あたたかい春の訪れが待ち遠しい季節になりましたね。私は、今まで自転車で通勤していたのですが、通勤中、家の近くの公園をたたくさんの方がとても気持ち良さそうに走らている姿に感化され、歩いて通勤するようにになりました。歩いて通勤するようになり、毎日同じ時間にすれ違う地域の人と挨拶を交わすようになりました。また、子どもが泣きながらお母さんに「嫌だ。幼稚園行きたくない。」と訴えている姿、お父さんと手をつないで保育園に通園している光景など、子どもたちの微笑ましい姿に元気をもらいながら毎朝歩いています。道端に咲いている花や風の匂いなど季節の移り変わりを感じながら元気に通勤しています。

さて、実は私の周りは年末から出産ラッシュです。サロンで出会ったお母さん、職場の仲間、友人、いとこの姉に元気でかわいい赤ちゃんが産まれました。出産のエピソードを聞くともちろん一人一人違います。

陣痛に苦しみ、なかなか赤ちゃんが出てきたくれず、大きな病院に救急搬送され、帝王切開で産まれた話、2人目の出産で、とても落ち着いて陣痛の時間を携帯にメモしながら、病院に向かった話など、みんなそれぞれ出産の大変さ、そして我が子が生まれた感動、喜びを幸せそうな顔で話してくれました。

隣で眠る我が子をいつまでも愛おしそうに見つめる母の姿に、子どもに対する母親の無償の愛をひしひしと感じながら病室を後にしました。みんな、幸せのおすそわけがありがとう。元気にすくすく育つてね。

(かこ)

大募集!



「ふくすく」に関するご意見・ご要望、子育てサロン等への取材依頼、子育てに関する様々なエピソードをお寄せください。皆さんの声をお待ちしています。

(子育て支援事業推進室)